

経営比較分析表（令和2年度決算）

岡山県玉野市 玉野市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	13	-	ド訓	救輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
57,921	10,895	非該当	非該当	10 : 1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

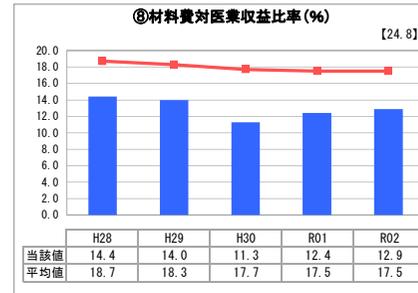
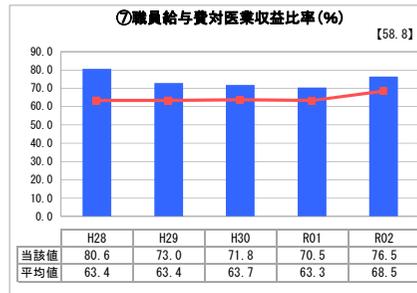
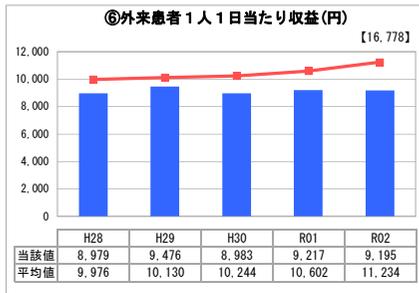
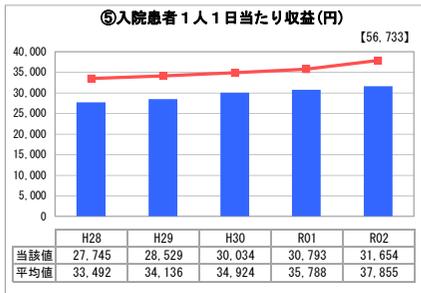
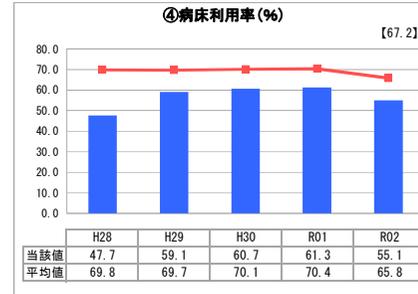
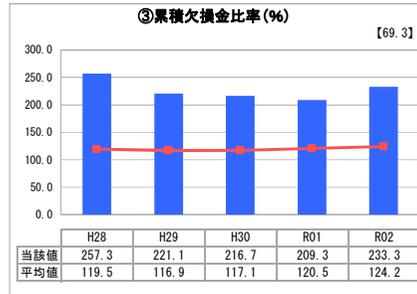
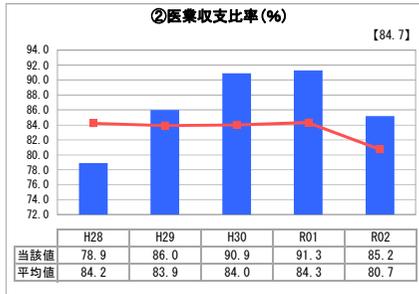
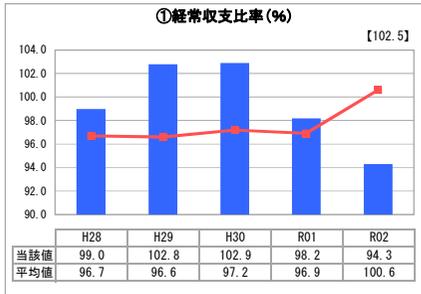
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
199	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	199
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
159	-	159

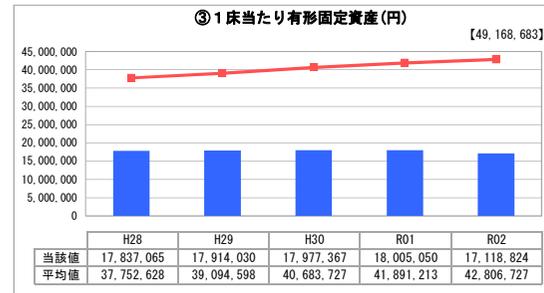
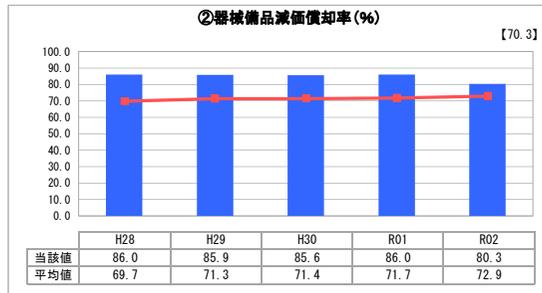
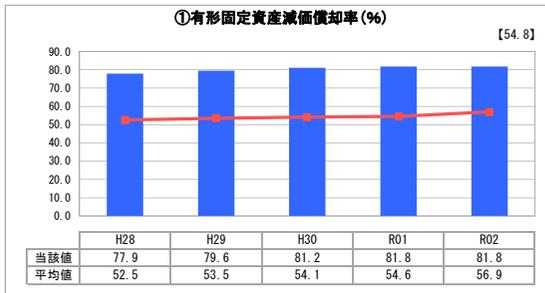
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度
-	令和3	年度
-	年度	-
-	年度	-

I 地域において担っている役割

市内には当院を含め6つの病院が設置されているが、当院では、公的医療機関として救急医療、小児医療を始めとする不採算医療を担うとともに、地域急性期、回復期を中心に地域における中核医療機関としての役割も担っているところである。

また、同一医療圏内には高度急性期機能を持った多数の病院が設置されており、高度治療を終えた患者が地域に戻って安心して療養できる場所として、バックベッドの役割も担っているところである。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当院の経営状況として、累積欠損金比率が平均値を大きく上回り、多額の累積欠損金を計上するなど健全とは言えない状況であり、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、経常収支比率・医療収支比率において、前年度と比較して悪化した。

特に収入面においては、入院外来共に平均単価は向上したが、受診控え等の影響もあり病床利用率が低下し収益減となった。

また、費用面においても、前年度と比較し職員給与対医療収益比率が悪化しており、コロナ禍の影響による衛生材料等の高騰により費用増があった。令和3年度からは地方独立行政法人へ移行、コロナ感染者の受入も開始し、経営改善に取り組んでいる。

2. 老朽化の状況について

築40年以上が経過し、減価償却率において有形固定資産、機械備品いずれも80%を超え、施設の老朽化が進んでいる状況である。

反面、1床当たり有形固定資産は平均値を大きく下回り、経営面における負担は軽減されているものの、利用者の安全性や医療の継続性を考慮すれば、施設の更新の必要がある。

全体総括

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、依然として厳しい経営状況が続いているが、安定的な経営に向けて、令和3年度より同地域の企業立病院と合併し、地方独立行政法人化を行ったところである。

老朽化した病院施設の対応については、現在新病院建設計画を進めており、令和6年度の新病院開院を目指し取り組んでいる状況である。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。